

Fukuoka Smart City Community、福岡みんなで防災プロジェクト第 2 弾 福岡の防災アクションを決めるオンライン市民投票「防災選」を開始 投票期間は 3 月 22 日から 4 月 22 日、1 位は半年後にアクション開始

福岡を代表する異業種 9 社とオブザーバー福岡市による共同事業体「Fukuoka Smart City Community(以下 FSC)」はこの度、福岡市が定める「市民防災の日」にちなみ、福岡の次の防災アクションを市民の投票で決めるオンライン企画「防災選」を実施することをお知らせいたします。

FSC は、自治体・企業・市民の垣根を超え、福岡市を日本で最も課題解決の早いスマートシティへと変化させ、「100 年先でも、選ばれるまち、FUKUOKA をつくる」ことを目指しています。「防災選」は、今後の防災施策を FSC に所属する会員企業 8 社と市民と一緒に考え、社会実装を目指すことで、“福岡みんなで”防災力を高めようという取り組みです。



The graphic features the text "1位は、半年後にアクション開始。" (1st place starts action in 6 months). The main title is "防災選" (Disaster Selection) with "SAI BOU SEN?" integrated into the characters. It specifies the voting period "2022 3.22 ▶ 4.22" and includes a QR code with the text "自分がほしい防災を" (Disaster I want for myself) and a "投票する" (Vote) button. At the bottom, it says "VOTE FOR ACTION" and lists partner logos: Goody, JR九州, 西武グループ, 西日本シティ銀行, Nightfury, 福岡銀行, FSC, and LINE Fukuoka.

「防災選」

■福岡みんなで防災プロジェクト「防災選」概要

「防災選」は、市民がオンライン投票で FSC が次に取り組む防災課題を決める参加型のプロジェクトです。参加者は FSC が特設サイトに提起する 9 つの防災課題「防災候補」の中から選んで投票。FSC は最も多く票を集めた「防災候補」を注力課題とし、解決のための施策を 2022 年 9 月中に実装することを目指して取り組みます。

市民の投票によって FSC の防災アクションをより市民のニーズを反映したものにするとともに、「防災候補」というかたちで課題を紹介することで、防災について考え、話し合い、ご自身やご家族の防災アクションを始めるきっかけをつくります。

- ・投票期間：3 月 22 日(火)～4 月 22 日(金)
 - ・結果発表：5 月上旬 特設サイトにて
- 「防災選」特設サイト：<https://lin.ee/5sRF40b/prmt/lfk/pr>

■ 9 つの「防災候補」

- 【1】ペットのための防災を考える「ペット防災」

飼い主とペット、2つの命を守るために、ペットとの避難時の逃げ方や避難生活で、もっと安心できる過ごし方を考えます。

【2】緊急時のコミュニケーションを考える「会話で防災」

災害時、連絡手段が途絶えたときのために事前に家族や地域で約束を決めるなどコミュニケーションで備えます。

【3】非常時の食を考える「グルメ防災」

日常利用しつつ備蓄を入れ替えていくローリングストックの推進から、避難生活のなかでの食事のあり方まで、食の街福岡として、非常時の"おいしい"を守る施策を考えます。

【4】思い出や大切なものの防災を考える「宝もの防災」

家族のアルバムや大切なおもちゃの避難、避難生活中の趣味の時間などは、命が最優先の災害時に後回しになりがちです。心にとって大切なものの防災を考えます。

【5】災害時の移動問題に関する施策を考える「帰るまで防災」

通勤先や通学先からの帰宅手段が無くなったり、移動中に突然交通インフラが止まったりした時の諸問題を解決する施策を考えます。

【6】頼れる相手がいない人の防災を考える「一人暮らし防災」

一人暮らしの大学生や高齢者など、災害時、近くに頼れる相手がいない人の不安に備えます。

【7】福岡の地に不慣れな人への防災を考える「観光防災」

福岡での観光中や、お出かけ先、土地勘のない不慣れな場所での急な被災に、街として備えます。

【8】妊娠中・子ども連れの時の防災を考える「子ども防災」

妊娠中の被災や子連れでの避難など、子どもを見守る人の災害時の負担を減らすために、今からできる対策を考えます。

【9】住まいの防災を考える「家選び防災」

一日の多くの時間を過ごす家を選ぶ際、避難所からの距離や水害リスクの大小など、家選びの防災視点の強化を目指します。



「防災候補」一覧

<ご参考>

・福岡みんなで防災プロジェクト第1弾

2021年3月9日実施。FSCと福岡市の共働の防災施策の一環として、「福岡市 LINE 公式アカウント」の交通・インフラ情報へのアクセスを強化し、市民に向けて災害時の情報収集力強化を呼びかける施策。

<https://www.atpress.ne.jp/news/250360>



福岡みんなで防災プロジェクト第1弾

<Fukuoka Smart City Community について>

名称 : Fukuoka Smart City Community

事務局所在地 : 福岡県福岡市博多区博多駅中央街 8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日 : 2020年10月14日

主な事業内容 : 市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及び PR の機会の提供

サイト : <https://fukuoka.smartcity-community.jp>

<FSCのこれまでの取り組み>

テーマ	カテゴリ	施策名	成果/進捗
市民と共に住み続けたい街づくり	感染症	飲食店向け支援セミナー (2020年10月14日)	・イベント中に視察者投票で支援策を検討 ・支援策として「会員企業のオフィスでのお弁当販売」を実現
		LINE公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」への掲載店舗募集 (2020年12月10日)	・追加での店舗掲載が確定(1店舗)
		飲食店支援専用LINEアカウント「FSC」飲食店応援活動からの定期的な情報発信 (2020年10月14日～)	・福岡市や会員企業からの飲食店向け情報を発信
	市民への情報発信	会員企業のオフィスでのお弁当販売 (2021年2月15日～)	・完売率90%以上 ・社員満足度90%以上 ・売上累計約110万円以上 ※全て開始4ヶ月時点での数値
		アマビエちゃん×FSCでのワクチン接種に関する情報発信 (2021年7月19日)	・FSC全会員のアセットを用いて大々的な市民への呼びかけを実現 ①オンラインでの告知(計約20媒体) LINE/Twitter/Facebook/社内イントラなど ②オフラインでの告知(計約1,230箇所) 西鉄電車内・駅構内・ホーム/西鉄バス車内/福岡市地下鉄駅構内など
自然災害	市民への情報発信	福岡みんなで防災プロジェクト (2021年3月9日)	・会員企業と福岡市、合計10のLINE公式アカウント等から一斉に防災メッセージを発信 ・特設サイトのPV数40,000以上 ・SNS上での「#福岡みんなで防災」企画に賛同する声多数
	その他	FUKUOKA SMART CITY AWARD 大學生向けアイデアアワード (2021年7月30日-11月17日)	・エントリーアイデア計60件 ・参加者満足度100% ※ファイナリスト向けアンケートの結果 ・グランプリ受賞アイデアの社会実装を検討、実施中

FSC のこれまでの取り組み



■本件に関するお問い合わせ先

Fukuoka Smart City Community 事務局(LINE Fukuoka 株式会社 Smart City 戦略室 室内)

TEL : 092-292-3573

E-mail : contact@smartcity-community.jp

広報 : 留置(080-9566-0157)、 日笠(080-2085-7696)